



Ambassade de la République Togolaise au Japon// トーゴ共和国大使館

N°003 – Avr/Mai 2012 en français et japonais//2012 年 04-05 月 フランス語及び日本語

EDITORIAL

論説

LE TOGO EN FETE



Le 27 Avril 2012, le Togo célèbre le 52^{ème} anniversaire de son indépendance.

A cette occasion, il m'est une joie de souhaiter une très bonne fête à tous les fils et filles de ce beau pays qu'est le Togo. Mes vœux s'adressent en particulier à la communauté togolaise résidant au Japon.

C'est également le lieu de renouveler mes remerciements à la JICA Global Piazza qui, cette année, grâce à sa contribution à l'organisation de la 1^{ère} édition du mois du Togo au Japon, a permis d'associer le peuple japonais à cette grande fête des togolais.

Cet événement qui se déroule actuellement et qui prendra fin le 29 avril 2012 offre l'opportunité de découvrir le Togo à travers les nombreuses activités qui y sont prévues notamment : l'exposition, les projections de films et documentaires, les conférences.

Parlant de conférences, il est à noter que la toute première a eu lieu le 14 avril 2012 et fut animée par cinq (05) étudiants, membres du club d'amitié Togo-Japon qui ont partagé avec leurs compatriotes les expériences diverses qu'ils ont vécu en séjournant au Togo.

Nombreux sont ceux qui ont souhaité y prendre part mais qui n'ont pas pu. Aussi voudrais-je partager dans la présente publication et avec les lecteurs du Togo-Shimbun un résumé desdits échanges.

A.D. AKLESSO BODJONA

Chargé d'Affaires a.i.

Ambassade du Togo au Japon

目次

SOMMAIRE

Editorial (suite).....P2
論説.....P2

A la découverte
du Togo.....P2
トーゴを知る.....P2

(suite) A la découverte
du Togo.....P3
トーゴを知る.....P3

(suite) A la découverte
du Togo.....P4
トーゴを知る.....P4

Club des amis du
TogoP4
日本トーゴ友好協会...P4

Photo du mois.....P4
今月の写真.....P4

©ambatogojapon



服部保志さん

(名古屋大学 文学部哲学科)



私は2010年8月から10月までの2ヶ月間、トーゴに滞在しました。

インターン先としてお世話になったのは、現地で環境問題などに取り組む”JVE”というNGOです。インターン生としてさせていただいたことと言えば、ドキュメントなどの邦訳とイベントのお手伝いです。

今回はイベント運営に関わったことから少しだけお話をさせていただきたいと思います。イベントの名前は”Cultural Biodiversity Week”。これまでの文化や生活スタイルと環境問題を一緒に考えようという主旨です。

トーゴやアフリカと聞いて、イメージしづらいかもかもしれませんが、トーゴ国内ではすでに都市化とグローバル化の波が押し寄せています。日本のサブカルチャーだって若い人であれば知っていますし、地方の方でもハリウッド映画を見ます。また、地方の若者は街に出て行きたいと考えます。

ここから起きる弊害と言えば、日本の地方に住む方ならご存知のように、地域の廃頽です。同時に森林の管理が行き届かなくなるという問題も起こります。自分たちの文化や生活を見つめ直すことで、いわゆるハイカラな文化に流されないこと。それが山をはじめ環境を守ることになります。

私たち日本人は、同じ構造をもった問題に直面してきたはずですが、だからこそ、日本とトーゴのよき関係を模索して行くべきだと感じました。

論説

トーゴの祝祭

2012年4月27日、トーゴ共和国は52回目の独立記念日を迎えます。この機会に、この美しい国の国民、特に在日トーゴ人の方々に祝辞を申し上げられることを嬉しく存じます。

また、この場をお借りして、「JICA 地球ひろば」の皆様改めて感謝申し上げたいと存じます。今年は、「JICA 地球ひろば」のご協力により、第一回「月間国別特集トーゴ」を開催することができました。おかげさまで、トーゴ人にとって重要なこのお祝いに際して、日本国民の皆様にお集まりいただくことができました。

現在開催中の本イベントは、2012年4月29日まで行われ、展示会、ドキュメンタリーフィルム上映、講演会等のさまざまな催し物を通して、トーゴについて民様に知っていただける機会となっております。

講演会に関しては、2012年4月14日に「日本トーゴ友好協会」メンバーである5名の学生方がトーゴに滞在された時の体験談を、日本人の皆様にお話し下さりました。

この講演会に来ることができなかつた方も多くかと存じます。そこで、本号では講演の概要を掲載することで、「トーゴ新聞」読者の皆様にも知っていただけたらと存じます。

トーゴ共和国大使館 臨時代理大使
A. D. アクレンソ・ボジョナ



舎川春佳さん

(大阪大学 外国語学部英語専攻)



滞在期間: 2010年8-9月

私が海外インターンシップをするにあたってトーゴを選んだ理由は、まず自分から物理的にも精神的にも一番遠い場所だと思っていたブラックアフリカに行ってみかたこと。そして行くならフランス語圏で言語能力を

向させたい、ご飯の美味しいところに行きたい、という下心でした。治安を考慮に入れると、トーゴが希望に合致したので、まず行き先をこの国に決めて、そしてインターンシップの受け入れ先を探しました。

インターンシップの内容は病院の視察、ワクチンキャンペーンなどでした。滞在した NGO、AJVAD-TOGO は設立者含め主要メンバー4人の小さな NGO です。1つの町に特化して活動を行い、学校・貯水タンク・トイレの建設、HIV/AIDS の啓蒙活動、手洗い促進などを主催しています。彼らは皆1つの家に家族同然に暮らしていて、私もそこに同居していました。住んでいた地域にガスや水道が無かったので、毎日バケツで水を運び、石炭をたいてご飯を作りました。普段の日本での生活に照らし合わせてみると、便利さや娯楽の量は言うまでもなく日本が圧倒的に多いです。しかしトーゴでの生活を通じて、日々の生活によってどれだけ本来の生を感じられるのかをとっても考えさせられました。私が接したトーゴの人々はとてもシンプルな生活をしていました。そして生き生きしていました。先進国が発展と引き換えに失ってきたものを見つけた気がしました。

トーゴでの生活は私の固定観念や視点を大きく変えました。そしてトーゴ人の穏やかで明るい人柄に触れ、心からの親切を受けたからこそ、この国が好きになり、もっと良くなってほしいと願う今があります。また私はトーゴで自国を良くしたいと奮闘する NGO のメンバーに会い、感銘を受けました。既に資本力などの面で「発展」している他のアフリカの国では格差により治安が悪化し、人々が人間不信になっていると言われますが、トーゴはこれから発展していく国。だからこそ今までの間違いを避け、人々が「心の豊かさ」を失わずに、いい「発展」の仕方をするのではないかと思います。それらがトーゴ友好協会での活動をお手伝いさせていただき原動力になっています。まだまだ日本では知名度が低いトーゴですが、日本の方々を知っていただき、興味を持ってもらいたいと思っています。

他2名の学生方の発表につきましては、次号の「トーゴ新聞」に掲載させていただきます。



青本有加さん
(立教大学 法学部法学科)



【研修先・期間】環境 NGO RJE (首都ロメ、2011年4月)
環境 NGO JVE international (首都ロメ、2011年5月～10月)

トーゴ滞在中は、公立中学校の教師をしているホストマザー率いるトーゴ人の家族と TCHAD からの留学生の女の子と共に生活していました。

【研修参加の理由】「社会貢献」は何かを学び、自らの手で実践したい。

【トーゴの環境 NGO を選択した理由】「日本人に馴染みの薄い国・環境」と「人への信頼」

【研修先で行ったこと】RJE: EARTH DAY に向けた環境啓発イベントの運営、ファンドレイジングのための情報収集・まとめ

JVE: 広報活動 (国内ネットワーク構築)、ファンドレイジング、ポイ捨て改善プロジェクト立ち上げ・運営 (ポイ捨てのゴミを再利用したゴミ箱を作製し、現地の NGO、企業のサポートを得ながらロメ市内 6 つの中学校にて問題提起活動とゴミ箱の寄付を行う)

【私の道標】「ビジネスを通して社会をより良くするしくみを自分の手で創っていききたい」

→理由: トーゴの環境 NGO の活動で感じた 3 点

- ・「社会貢献」は経済を回す主体の支援があってこと成り立つもの
- ・財政の知識が全く無く、組織の問題点をどう克服していくのかをきちんと分析できない
- ・日本産業・技術力がトーゴの人々の生活を支えている一方、中国・韓国産業が大きく台頭している現実
→経済を動かすためのお金の動き方を学ぶことと日本産業をアジア、アフリカへ出し、人々の生活をより良くしていくことに関わりたい。

Club des amis du Togo

2011年11月に「日本トーゴ友好協会」が発足致しました。目的は、日本とトーゴの間に構築された友好協力関係を、さらに強化することです。本協会メンバーは、日本におけるトーゴのプロモーション活動を行い、積極的に当大使館にご協力して下さっています。あなたもメンバーになって、西アフリカにあるトーゴというこの美しい国の魅力を分け合いませんか？是非ご連絡下さい。

日本トーゴ友好協会HP : <http://togo-friends.com/>

Facebook : <http://www.facebook.com/togo.friends>

日本トーゴ友好協会

PHOTO DU MOIS



LE SYMBOLE DE L'INDEPENDANCE DU TOGO

トーゴ独立のシンボル

今月の写真

